

平成14年11月19日
総務省

「プライスカップの運用に関する研究会」の開催

総務省では、上限価格を表す基準料金指数の設定にあたって必要となる生産性向上見込率（X値）の算定に当たり留意すべき考え方を検討するため、「プライスカップの運用に関する研究会」を開催します。

1 目的

NTT東西が提供する電話、ISDN、専用サービスに係る料金については、平成12年10月1日から上限価格（プライスカップ）方式が適用されているが、上限価格を設定するために必要な生産性向上見込率（X値）については、3年ごとに見直しが行われることとなっている。本研究会は、次期（平成15年10月1日より3年間）に適用される生産性向上見込率を算定する際に留意すべき考え方を検討するものである。

2 検討項目

- (1)需要・収入予測
対象サービスの需要・収入予測の検討を行う。
- (2)効率性の計測
過去の収支実績に基づき、効率性の計測方法の検討と実測を行う。
- (3)経営効率化の計画
合理化計画、適正報酬率、収支予測等の検討を行う。
- (4)消費者物価指数変動率
消費者物価指数変動率の検討を行う。
- (5)その他

3 構成員

- (1)構成員は、別紙のとおり。
- (2)オブザーバーとして、NTT東西が参加。

4 スケジュール（予定）

平成14年11月20日（水）に第1回を開催し、平成15年（2003年）2月末頃までを目途に開催予定

連絡先：総合通信基盤局電気通信事業部料金サービス課
（担当：片桐課長補佐、菊地係長）
電話（直通） 03-5253-5842
FAX 03-5253-5848

構成員名簿

(敬称略・50音順)

【構成員】

伊藤 成康 (武蔵大学経済学部教授)
関口 博正 (神奈川大学経営学部助教授)
辻 正次 (大阪大学大学院国際公共政策研究科教授)
刀根 薫 (政策研究大学院大学教授)
鳥居 昭夫 (横浜国立大学大学院国際社会科学研究科教授)
中島 隆信 (慶應義塾大学商学部教授)
山内 弘隆 (一橋大学大学院商学研究科教授)

【オブザーバー】

NTT東日本

NTT西日本
